

## CONTENTS

HAYANO GROUP  
COMMUNICATION MAGAZINE

表紙の写真

## 雑誌「サンデー山梨」

「娘夫婦誌は時代を写す鏡」と言う。今回ご紹介する「サンデー山梨」はまさに昭和三十年代の山梨を写す鏡である。中高年齢の諸氏ならばなつかしく表紙絵を見て往年の映画スターの名前が即答出来るであろう。この週刊誌編集兼発行人は上野久雄氏である。見事な編集ぶりに脱帽といった感である。時代を反映して編集の柱は娘夫婦に置いた。映画全盛期とも言えるこの時代、甲府市内上映映画を詳しく紹介するかたわら、映画興業先と連携し愛読者優待割引券を付け映画撰稿を図っている。これが人気を呼び映画ファン必読書となり発行部数を急激に延ばした。読者が選ぶ「味覚五傑」も人気があった。「早川ベーカリーのショートクリーム」「きぬやのだんご」は当時の庶民が選んだ甘味の代表である。小冊子ながらも綜合雑誌の形態を保っている。連載小説に熊王徳平が健筆をふるい、河野道工が短歌の投稿の常連だったり、中沢春雨が身の上相談欄を担当している。私も毎週発売日には書店通いした「サンデー山梨」ファンの一人であった。定価15円。

(解説:奈良美文庫 植松光宏)

[MUH] vol.25 2001.10.1

企画／早野グループ「MUH」編集室

深澤進・矢田道生・坂本孝治・望月賀

編集／株式会社ニュースメディア甲府

三井弘・三井君乳・高山ひとみ・杉田陽子・

宮塚利雄・杉村聰・青木茂樹・

浅川義・樺克明・永田宏

印刷／株式会社サンニチ印刷

誌名の「MUH」は、早野経の社旗である「和」を託した  
Mate(仲間) Union(結束) Harmony(調和) の頭文字から  
とりました。幻のムーランドのロマンを目指します。

<b>フォーラム</b>		
テーマ アルバム 江宮隆之・古屋久昭・岩崎正吾・佐藤眞佐美	2	
<b>対談</b>		
山梨21 名執瞭子さん テレビ山梨アナウンサー 制作部専任副部長	4	
ウッティな気分で テレビの見どころ 山梨の聞きどころ ふるさと密着の番組づくり		
ホスト 早野 潔		
<b>トピックス</b>		
「世界の工場」に躍進する中国 宮塚利雄	10	
<b>ウォッチング</b>		
株式会社応微研 代表取締役 堀内 熊氏	11	
<b>サークル訪問</b>		
昭和町カルチャー・デザイン倶楽部	13	
<b>セミナー</b>		
『アメリカ雑感』 青木茂樹	14	
<b>レディースセミナー</b>		
小さい花束 三神ふさ子	15	
<b>インフォメーション</b>		
トヨタホーム山梨・甲府通運・早野組・トヨタビスタ山梨	16	
<b>歴史</b>		
七代目市川団十郎 上野晴朗	18	
<b>美術</b>		
ボクの美術品観察日記18 山本育夫	20	
<b>BOOK</b> こんなところに山梨… <b>BOOKコーナー</b> 「甲州の地図」	22	
お茶の間の民俗学(16)		
—ふるさとの心と味(11)— 志摩阿木夫	23	
<b>奥を見るハイキング</b>		
徳和川・荒神の滝 上野 崑	24	
<b>甲府通運前史を訪ねる(18)</b> 林陽一郎	25	
<b>ユーザー訪問</b>		
株式会社 合同タクシー	26	
<b>お薦め</b>		
柴田敏之さん	27	
<b>エッセイ</b>		
黄土色の町 水木 勉	28	
<b>ときのひと・FACE</b>		
トヨタホーム山梨株式会社 営業部 本社展示場 店長 川口 達さん	29	
<b>やさしい手</b>		
介護サービスのご案内	30	
<b>おしゃれ</b> 八ヶ岳リゾートアウトレット <b>たべる</b> フレンチテーブル・シャンモリ	31	
<b>コラム</b>		
某月某日 杉村 聰	32	

## アルバム

## 武田二十四将団のこと

江宮隆之

「武田二十四将団」は戦国のアルバム集である。武田信玄を中央上段に置いて、その左右から下段に掛けて残る二十三人の武将が並ぶ武将団だ。

この「二十四将団」は、江戸時代の中頃から幕末・明治に至るまで盛んに描かれている。

ほかに徳川家康の家臣団を描いた「徳川十六将団」「二十将団」などの画像も「武田二十四将団」同様に何度も描かれてきた。こうした画像は、他の戦国武将にはほとんど見られない。武田、徳川のみの現象といつてもよい。

しかし、何といつても有名であり、全国的に知られているのは「徳川十六将団」よりも「武田二十四将団」の方だ。お陰で、武田の武将は日本全国にその名前を知られることになった。滅びた武田家臣団の武将団がどうして全国展開されたのか。これは謎である。

一つには、天下を掌握した徳川家康が武田信玄の民政、治世を手本にしたことと無関係ではないだろう。例えば、「喧嘩面成敗」も信玄の法度にあり、江戸時代の貨幣制度(両、朱、分など)も甲州流を基本に置いている。

だが、武将画像の発行と流行はもっと別の理由が

考えられる。それは最初の「二十四将団」が描かれたのが元禄時代の始め頃であることだ。この時代に「甲陽軍艦」が普及しているのである。

鳥居清信が描くところの「二十四将団」は、最も早い時期のものといわれるが、信玄の顔は初代市川團十郎の顔に似せて描かれている。この画像が、その後の「二十四将団」の原型になった。上段中央の信玄に続くのは上段に親類衆、中段に諸代と國家、下段に新参衆となっている。信玄の左右には、穴山梅雪と武田道三。一番下段の左には山本勘助がいる。

この「二十四将団」が描かれた直後から「川中島合戦団」なども盛んに描かれるようになってくる。つまり「武田氏の復讐」である。何故滅亡した武田家が復讐したのか。それは、元禄時代と無関係ではない。柳沢吉保が五代將軍・綱吉の側近として実力を發揮した時期と重なるのである。いわば、このアルバム集は「柳沢効果」ともいえよう。

この「二十四将団」は、武田家に先祖を持つ浪人の仕官にも役立ったという。そんな副次的なアルバム効果を思うのも楽しい。

## 永遠の途中

古屋久昭

多いのか、普通なのか、よそ様の様子を聞いたことがないから分からないが、わが家には姫さん婆さんのアルバムから始まって、子どもたち、室内、私と計6人がそれぞれのアルバムを持っていて、合わせると70冊ぐらいになる。おそらく私一人でも20冊ぐらいはあるはずだと数えてみると、なんと30冊。そのほかにまだ机の引き出しに、ここ1~2年間の未整理のままの写真がウンザリするほど眠っている。

どうしてこんなことになってしまったのか。写真が特に好きというほどではなく、記録魔といえるほどの自負もなく、潔癖な整理主義者でもない。なのに確かにアルバムはあり、そこには親から貰い受けた私の幼年時代のものから今までの写真が貼ってある。未整理の写真もいざれアルバムにおさめ、さらに今後20年、男77歳の平均寿命まで生きながらえたとして、生涯40~50冊という数のアルバムを持つことになる。もっともその頃には分厚いアルバムからはおさらばしてフロッピーディスクへとバトンタッチされているだろうが。

30冊のアルバムは大かた年齢順、時代順になつていて、たとえば職場や家族

でのスナップ、友人との遊びや旅行、趣味仲間とのスナップなどである。旅行アルバムも、海外旅行、国内旅行、サイクリング旅行、スケッチ旅行などに一応分けてある。さらにいえば、街や自然の目に留まった景色、わが家の庭に咲く花々、といった分け方にもなっている。

アルバムを開くと、幼年時代の頃はともかくとして、どんな昔のことでも、そのときのことがおぼろげに、あるいは鮮明に浮かんでくる。声や音、ざわめきまでもが聞こえてくるようで、まさにタイムスリップである。中にはもう現実にはお目にかかるないものもある。例えば今は亡き人々、消えた建物・木の橋・畑・林などなど。しかし、そこにアルバム(写真)がある限り、世界は存在し、時に歴史や時代の証言ともなりうるので。

シャッターの一瞬のなせるわざによって、時間は止まり、一度被写体になったものは、魔法にでもかかったように瞬時に動かなくなり、もう二度と姿形を変えることはない。それから後は、ただひたすら永遠に向かって新たな時間を積み重ねていくだけである。

こうしてアルバムといふものは、常に永遠の途中として在り続けるのである。

## 思い出の映画スター・アルバム

岩崎正吾

かくして、その場はがぜん盛り上がったのである。誰かがふとつぶやいた。

「最近はスターらしいスターがいないな」

本当にそうだ。最後のスターといえるのは高倉健くらいじゃないかと、全共闘世代のおっさんが言うと、いや、加山雄三もスターに加えていいのではないか。「大学の若大将」は青春のバイブルだったと、少し若い(といつても最近孫が出来た)おじさんが言う。青春スターなら吉永小百合もいいのではないか、それなら山口百恵も資格がある、なんてだんだん若くなる気配になる。

そこで、高倉健のレベルに戻して仕切り直し。高倉健に対抗するのは鶴田浩二ではないかと前述のおっさん、任侠映画しか見なかったらしい。やはり東の裕次郎、西のひばりだろうと別の誰かが言う。どちらも歌手兼俳優、共に昭和の終わりに五十年代初めで死んだ。西のひばりになるのは東映京都のスターだからだ。

しかし、わたしに言わせれば、スターとは東のミネ、西の錦之助である。クロサワと歩んだ世界のミネは

ともかく、萬屋(中村)錦之助のカッコよさといったらなかった。水もしたたる美男なのだが、コミカルな演技にも味があった。一心太助も当たり役だったが、森の石松がよかった。大人になって石松「闇魔堂の最後」を見て、そのカッコよさに震え上がった。

いや、スターなら市川雷蔵と勝新太郎だと主張するのもいた。どちらも大映の所属だが、二人がスターであったことに異存はない。雷蔵は現代劇にも果敢に取り組んだが、カツラをつけないと実にふつうの顔だった。勝新太郎は遅れたスターだが、「悪名」「座頭市」「兵隊やくざ」など演技派でもあった。大麻事件で映画に出られない時期があったが、スターなんだから大麻なんか腹いっぱい吸わせてやれ、その代わり「座頭市」を10本つくらせろと暴論を思ったのだ。

スターが次々と死んでいった時、わたしは悲しくてたまらなかったが、世の中に同じ思いの人がいっぱいいたのではなかったか。あれは二度と戻らない自分の青春をスターに重ねて惜しんだということだろう。映画スターの時代は「われらの人生の時」だったのだ。

## オランダ式外貨獲得法

佐藤真佐美

出掛けにドイツに住むわたしたちの仲人夫人から「あなたたち、オランダに行くといっていたわね。シリとひったくりには、十分注意してよ」と電話が入った。

ドイツを訪ねることは妻の念願だった。子どもたちに手がかかるようになったを機に、間もなく結婚30年を迎える姿をみせようということになった。ついでにフランスの友人ジャンにも会おう。ゴッホの国オランダにも行ってみたい。水上都市ヴェネチア、ローマの遺跡とバチカンを見学し、ニースではシャガールとマチス美術館、パリのルーブル美術館を見よう。サイズでチョコレートも買おうと、欲張りヨーロッパ一周の計画をたてた。

途中台湾と香港に止まった。台湾では「まあ、日本円がそのまま使える!」と、妻はさっそくショッピング。香港空港では、初めて持ったVISAカードを、国際電話機に使用してみた。かけ方がわからない。通りがかりの若い男性に英語で話しかける。中国語でなにやらつぶやき、何度もやってみてくれた。やっとつながった。「中国人って親切ね」と妻は感激。午前6時過ぎ、空路十数時間でパリのシャルル・ド・ゴール空

港に到着。ヨーロッパ17ヶ国乗り放題のユーレイルパスを買っていたので、空港駅でアムステルダムまでの座席指定券を求める。途中何度も乗り換え、ぎゅうぎゅう詰めの時もあったりで、3時間あまりの電車の旅を終え、期待に胸を踊らせ憧れの国オランダの土を踏んだ途端、顔から血の気が失せた。財布がない、ギルダー、フラン、ドル、マルクに円も含めて、10万円あまりが消えていた。無一文、頭は真空状態、途方に暮れた。電車の切符は無事だったので、移動はできる。「とりあえず、ドイツに行きましょう」

茫然自失のわたしを妻が促す。憧れの国を罵倒しながら、わずか数時間でおさらばとなってしまった。

滞在16年の仲人夫妻も「わたしたちは、5回やられました。日本人はいいカモなの。人口の1.5%が、それで生計をたてているんですって、オランダは」

夫人は「やっぱり」とか「だから電話を掛けたじゃない」とは、一切言わなかった。まんまと、オランダ式外貨獲得法に貢献させられたのであった。妻のVISAカードで続けた旅のアルバムにオランダだけ空白なのは、そういうわけだからである。

江宮隆之  
1968年山梨県生まれ  
作家、著書に「来るる  
海の物語の人」「高倉健  
真心に想いをうつす」  
「高倉の人生」「高倉の愛  
にゆきわざ」、「鶴田・山根  
方向の人生」「東洋美  
かの歌詞翻訳集」  
など多数。著書は  
「海上昇月伝説」「河出  
書房新社刊」

古屋久昭  
1943年福岡県生まれ  
日本現代作家協会会員、当  
水谷洋介監修文庫評議會  
員。著書に「絶対日記」  
ほか、著書は「寂しく  
死んで」、エッセイ集等

岩崎正吾  
1944年福岡県生まれ  
作家、白井千尋と文庫  
代表、脚本「1月でもお  
のぞみ」の脚本をシナリオ原  
稿にて公演に選ばれ、  
『夏の夜』、また、『インテ  
リート』と『佐藤・山根  
旅館』などと脚本の  
脚本をしてようこそ劇場  
を書く。著書に「スリラー  
『探偵の名と村田さん』  
『飛鳥の名と飛鳥さん』  
『飛鳥の名と飛鳥さん』  
『飛鳥の名と飛鳥さん』

佐藤真佐美  
1968年北海道生まれ  
日本文藝作家協会会員  
日本文藝出版社会員  
著書に「想像! 大東京物語  
ソーン」「オフ社」「文化  
のものたち」など。  
「北海道新聞」記者に  
「シレントのカルバー」  
「東京の山根の豪傑」  
「アオキ出版」など



早野 潔

名執 瞭子さん

# 「ふるさと密着の番組づくり」 山梨の聞きどころ テレビの見どころ あるふと密着の番組づくり

ゲスト

なとり りょうこ  
**名執 瞭子**さん

テレビ山梨アナウンサー  
制作部専任副部長

ホスト

はやの さよし  
**早野 潔**  
早野組社長

## ■ ウッティに託した発想 地域密着の番組づくり

早野 おや、しばらくですと、思わず挨拶をしてしまいましたが、お目にかかるのは、初めてですね。

名執 はい。どうぞよろしくお願ひいたします。

早野 番組で、いつも拌見していますから、つい、親しい友人のような気がしてしまいます。

近ごろ、テレビ山梨が新しくなった、見逃せない、という感じを受けています。「ウッティ」というシンボルキャラクターも人気のようですね。21世紀になって、突如として現われた不思議動物、といった印象です。

名執 有り難うございます。取材へ出まして、各地で「あっ、ウッティが来た」なんて、子どもたちからも声をかけられまして、スタッフ一同、力を得ています。

「ウッティ」というのは、もう皆様、テレビをおいてお馴染みになって頂いていると思いますが、大きな目、大きな耳をもったキャラクターで、その正体というのは、好奇心いっぱいの心です。

早野 UTYのネームをおしゃれに発音して、「ウッティ」ですね。生みの親は、テレビ山梨と視聴者の共感、ということでしょうか。21世紀に育んでいきたいマスコットですね。

テレビ山梨は2001年の今、開局31周年に踏み出しましたね。テレビは現在、多チャンネル、多メディア化の進展のなかで、新しい性格づくり、役割づくりが模索されていますよね。

名執 たくさんのメディアから、推し

量りようのない情報が、国内はもとより、世界中からはいってきます。過剰な氾濫ともいえますし、競争ともいえますね。そのなかで、民放地方ローカル局のサバイバル策は、やはり、地域番組以外にはないといえるでしょう。

エリアのなかをよりよく取材し、地域の皆様とふれ合いで充実し、県民とテレビ山梨の信頼を確立できたなら、と願っています。

早野 地域に密着し、地域の話題を、地域の人たちに提供していくこうというコンセプトですね。テレビ山梨らしい創造ですね。

名執 はい。「ウッティらしくて、いいな」という情報の発信をしていきたいですね。

## ■ 面白くて、ためになる 山梨の暮らしを探訪

早野 「ウッティ」の発想を反映させた番組が「ウッティな木曜日」ですね。木曜日の夜7時からの一時間というゴールデンタイムで、局の熱の入れようが伝わってきます。

わたくしどもの社員にも、ファンが多いですよ。

名執 スタジオと各地を結んで、今日の話題を提供しています。

早野 中継で、まちと人を紹介していますが、たとえば、幹線道路からなかに入った生活道路のたたずまい、また、そこに広がる平凡だけれどもかけがえのない暮らしの温もりがいいですね。

商店街、まちの情景、祭り、名物などが探訪されていきますが、一般の生活者を主人公にしているところに好感をもちます。カメラも、あたたかまなざしを向けていますよね。

スーパーのレシートでのプレゼントもありますよね。

名執 その日、スーパーで買物をされたレシートに電話番号を記入し、局の用意した抽選箱に入れていただきまます。これを、抽選し、スタジオから当選者に電話をし、お出になればレシートの金額に対して何倍かの商品券がプレゼントされます。

早野 番組をとおして、大勢の方が、同じ時間を、同じ喜びを共有できますよね。女性には人気のコーナーでしょう。

名執さんの担当される「なぜなぜ探偵・リョーコ」というコーナーも興味津々ですよ。

名執 ご覧いただいて感激です。これは、山梨にまつわる疑問をお葉書で寄せていただき、スタッフが徹底追跡し、お答えするというもので、たとえば、ブドウの「ビオーネと巨峰の違い」ですか、「山梨にムジンが多いのはなぜ」といった問い合わせ、また、「山梨のお赤飯に甘納豆の入っているわけは」といった事柄の謎解きです。

ごくごく身近で、あたりまえの疑問ですが、なかなか即答できません。

早野 その糸口をたどっていくと、山梨の風土が見えてきますね。面白い、ためになります。

「ウッティの木曜日」は、コーナーも多彩で、茶の間のくつろぎを演出していますが、しかし、そこには山梨の市町村の交流を深め、文化の復興、地場産業や商店の活性化を促進していくという意図が明快です。「ふるさとおこし」の番組といっていいでしょうか。

共通意識と共感と  
意欲あるドキュメント

早野 テレビは、かつては家庭にひとつの大貴重なものでした。いまではリビングにある、家族一人一人の部屋にもあります。おのずから、テレビの見方も変わってきました。

番組の作り方というのも、難しいでしょうね。

名執 テレビは総合メディアであり、大衆のメディアだといふわれをしてきましたが、どうなのでしょう、共通のワク組がなくなっていくような気がしています。

早野 大衆といいましても、これはひとつの想定でして、抽象的な判断ですからね。知りたい情報の範囲も、質も多様ですからね。

名執 誰に向けて、何を、というこの追求が、わたくしたちにとっても第一の課題です。

早野 一般の企業活動も同じことがいえるでしょう。大衆ということを想定してのモノづくりや、大量生産というのは成り立ちません。

名執 ご多忙とは思いますが、どのような番組に同心をおもちですか。

早野 いまは、ビデオがありますか

らね。

いつぞやテレビ山梨の「目指せ!

ゼロエミッション」というのを拝見し

て、印象に残っています。山梨の環

境問題を取り上げ、循環型社会のあ

り方を取材され、家庭、企業、行政

の役割を提唱していました。

名執 先進国の取り組みや、実状、

他県の状況も取材し、比較検討しま

した。

早野 こうした番組こそ、山梨とい

う共通のワク組にかなったもので、

テレビ局と視聴者とが、共通の場に立ち、向かい合っているという印象をもちました。ローカル局の新領域

だと受け止めました。

名執 局のスタッフも、同じエリアに住む住人であるという自覚をしっかりもっています。

早野 質の高い番組には、手紙や

電話など、視聴者からの反応も多い

のでしょうね。

名執 オリンピックの水泳で活躍した山梨の萩原智子さんを取材した番組「智、おつかれーシドニーへの道 姉から妹へ」も大きな反響をいたしました。

早野 ジャーナリズムでは表舞台しか紹介されない萩原智子選手の、ふるさとへの思い、家族愛、目標に向かっての日々の鍛錬が、実によく捉えられていましたね。心を打たれました。

これらの番組には、メッセージがありますよね。

山梨らしさの発見と創造  
小さな文化に出会いたい

早野 取材をとおして、山梨県内の市町村は、どれくらい回られましたか。

名執 もう、すべての地域にお邪魔をしています。地図で俯瞰するのとは違い、山梨は広いなあと実感しています。また、同じ山梨でありながら、行政区画が違うと、もう、地名はもとより、暮らしのようすも互いに知らないのだな、という情報の隔たりを感じています。



早野 そうですね、そう言われて自問自答してみれば、どなたもうなづかれるのではないでしようか。

この地形を超えて、山梨のコミュニケーターとして取材活動をし、情報を提供していくというのが、名執さんの目指すところですね。

どんな話題が、地域の交流を深める題材になるのでしょうか。

名執 やはり、食べ物でしょうか。郷土食や、名物料理をとおして土地の個性を紹介していくと、関心が生まれます。

早野 はじめに食あり、ですね。おいしい話題がいいですね。

グルメ番組が多いのですが、しかし、テレビをとおして味わいを伝えしていくというのは、至芸ですねえ。

名執 おいしさのニュアンスは、アナウンサーの表現にかかっています

からねえ。

早野 じゃあ、すでに、山梨の食通であるわけですね。名執さんに誘われて、テレビをご覧の方も、つい、出かけてみたくなりますね。

山梨の素晴らしさ、というのは何でしよう。

名執 大自然ではないでしようか。清らかで、安全で、おいしい水もあります。深呼吸するだけでうれしくなる空気があります。また、何処の土地に行きましても、伝統芸能や、郷土の歴史を誇り、大切にしています。

早野 伝統というのは、ひとつの地域が、これまでに蓄積してきた時間の密度ですよね。決して、都会にはありません。

地城に芽生えている文化や、ボランティア活動、総合学習といったものにも、さらに目を向けていっていただきことを期待しています。テレビが、地域のフォーラムになってもいいでしょうね。

名執 取材をとおして、山梨らしさを探していきたいですね。また、時代にふさわしい山梨らしさを創造していきたいですね。

早野 ローカル局が、より個性的であるならば、また、地域により密着しているのであれば、エリアから、今度は全国発信の可能性が出てくるのだと予測できますよね。ローカル局の性格も変わります。

いまの若い人たちを見ていますと、情報化が進んでいますし、インターネットでなんでも簡単に、早く分かりをしていますからね。

名執 インターネットには、負けませんよ。



### ■ もっとコミュニケーション 言葉の裏づけは人間性

早野 テレビをつけ、チャンネルを選んでいて名執さんのお顔が出ると、ああ、テレビ山梨だとわかります。局の看板であり、豊富な経験をおもちですが、エピソードも多いでしょうね。

名執 いえ、失敗を重ねて成長してきました。そうです、入社したばかりの頃ですが、ニュースの天気予報を担当していたことがあります。ある日、富士五湖の取材から帰ったスタッフが、地元の人たちが水位に異状がある、地震の前ぶれかと話していた、と言葉をかけてきました。

早野 さて、カメラの前に立って、本番になりました。

名執 そのとき、思わず、地震がく

るようすと、湖面の状況を形容してしまいました。

早野 取り返しがつきませんね。視聴者は驚き、身構えたことでしょう。

名執 上司に叱られましたね。テレビ報道というものの怖さをしみじみ実感しました。

早野 日常生活でも、人と理解し合いたい、よりよい人間関係をもつたために「話す」ということは大事なことです。円滑なコミュニケーションのために心がけたいこと、ヒントを教えていただけますか。

名執 自然体である、ということをいつも大切にしています。

早野 話すことのなかに、人間性が表れますものね。

名執 活字と違って、テレビは人そのものが映し出されます。信頼され

る人間性がありませんと、伝達することのリアリティが獲得できません。

早野 いまは、対話が下手な時代でもありますよね。生活は自動化されていますし、パソコンなどを相手にする人が多くなっているからでしょうかね。コミュニケーションが希薄です。対話の相手を見失っているからでしょうか。

名執さんは、テレビの画面でも、対話をするように話されますね。こちらも、話しかけたくなります。したがって、親しみが生まれます。

名執 取材もそうですね。話しかけたい人だな、と思っていただかない場合には、何もはじまりません。

早野 話し上手は、聞き上手なので

すね。楽しいひとときでした。とても「ウッティ」な気分でした。

【構成：三神 弘】

# 見て、見て、聞いて。



もっと身近に！ テレビ山梨は地域に密着した番組をお届けしています。

### UTYニュースワイド

月～金 18:21～19:00 土 17:30～17:54  
再放送 月～木 24:55～25:25

### UTY

### ウッティな木曜日

木曜日 19:00～19:54

### UTY

### はなきんマーケット

金曜日 10:20～10:50

### UTY

### わいわいQGランド

日曜日 10:30～11:00

再放送 金曜日 5:30～6:00

### 山梨音楽旋風

日曜日 23:00～23:30

### やまなし朝だよウッティ

月～水 5:45～6:00

### やまなし朝だよウッティ

木曜日 10:20～10:45 +10

**UTY** テレビ山梨

本社 〒400-8570 甲府市湯田二丁目13-1  
☎055-232-1111㈹

東京支社 〒104-0061 東京都中央区銀座8-8-1  
出雲ビル ☎03-3572-2603㈹

大阪支社 〒530-0003 大阪市北区堂島1-6-20  
堂島アバンザ ☎06-6341-4405㈹

静岡支局 〒420-0852 静岡市紺屋町11-4  
太陽生命静岡ビル ☎054-251-8666㈹

富士吉田支局 〒403-0004 富士吉田市下吉田2657-1  
☎0555-22-7222㈹

UTYホームページ  
<http://www.uty.co.jp/>

## 日本や韓国の第二位の輸出国

2008年のオリンピックは北京開催となった。アジアでは日本、韓国について三番目の開催国となった中国政府は、2005年までに2兆8000億円のインフラ投資を明らかにし、北京市内ではオリンピックにむけ、タクシー会社が早くも運転手に英会話を訓練を実施しており、英語ができると運転手になれないという。この身の変わりの速さは、さすがに“赤い資本主義国”中国のなせる技で、感心せざるをえない。

さらには、この秋には世界貿易機関(WTO)への加盟も確実になっている。かつての“アジアの眠れる獅子”は今日では、アジアの“巨大な昇龍”として世界から脚光を浴びているばかりでなく、工業生産においても今や「世界の工場」として、IT関連製品や素材などの分野で、日本や韓國のお株を奪うほどまでに成長している。

日本貿易振興会(JETRO)がこのほど発表した今年度上期の日本と中国の貿易額(輸出入の総額)は、前年同期比12.7%増の436億5000万ドルで、上期の過去最高を更新し、年間の貿易額も900億ドルを突破する見通しとなった。対中輸出が増えたのは半導体を中心とした電子部品などの輸出が増えたためで、この結果、中国は日本にとって米国に次ぐ二番目の輸出国となった。同じく中国への輸出攻勢を図っている隣の韓国でも、上半期の統計では日本を抜いて中国が第二位の輸出国となり、中国市場をめぐる日韓両国の争いも熾烈さを増している。



## 「世界の工場」に成長した中国

中国製品といえばこれまで「安からう、まずからう」というイメージが強かったが、衣類のユニクロや各種家電製品に代表されるように、今や質、量ともに日本市場を席巻している。中国も一朝一夕で「世界の工場」になったのではない。中国は1978年以来、経済の改革・開放政策を採用し、外資の呼び込みを積極的に進め、外資を取り込み輸出を拡大してきた。その過程で生産技術を蓄積する一方、世界各国・地域の企業も安価な労働力を求めて生産シフトを中国へ加速化してきた。中国の情報通信機器、家電、自動車など12品

目の生産シェア動向予測によると、2001年に中国は携帯電話で初めてアジアのトップとなるなど、合計7品目でシェアを拡大する見通しという。広範な工業製品の分野で中国は確実に「世界の工場」に成長しており、これに各国企業の中国への技術開発拠点の移転が、増産に拍車をかけてる。一方、日本の産業界でも最近では中国の生産技術が向上し、品質にも大きな差がなくなり、日本の約30分の1といわれる人件費の安さが、日本の製造業の競争力を左右するといわれるまでになっている。このため「日本の主要製造業の49.1%が今後3年以内に自社製品の海外生産比率を引き上げ、その進出先の約7割を中国が占めている」(『日本経済新聞』2001年8月9日号)と言われているが、この通り実行されると日本国内での生産構造や雇用などへの影響は甚だ大きい。

12億5000万人という巨大な消費地をかかえる中国は、WTO加盟後に国内販売の緩和が予想されており、生産拠点を中国に移した世界企業と中国企業との間で、販売にしおぎをけずっている。いつの日か「中国製品が世界価格、世界品質」になる時代が到来するかもしれない。

もっとも、その前に中国もしなければならないことがある。それは世界中に出回るコピー商品や偽ブランド品の3割近くは、中国本土で造られているという現実である。中国はWTOに加盟すれば、知的所有権についても権利の保護や取締りの確実な実行を世界に約束することになる。ここしばらくは中国製品から目が離せない。

「ウチには営業部がないんです。前払いでも売れるモノ、本当にいいモノだけをつくって、営業マンの手腕に頼らなければ売れないモノは最初からつくりません」と話すのは、(株)応微研の堀内勲社長(58歳)。そこまで言い切れるのも、眼力に自信のある理学専門出身の経営者ならでは。

今回はアガリクスの菌糸体大量培養技術がヒットして、目覚ましい業績を上げている当社をご紹介したい。

売れるモノをつくる  
高度な技術とノウハウ

ブラジルのサンパウロ近郊の森林に自生し、特殊な環境でしか育たない“幻のキノコ”アガリクス茸。人の免疫力を高め、抗ガン作用もあると認知度が高まったのは、つい最近のことだ。社長は90年代半ば、すでにこのアガリクス茸に着目。特殊なタンクで培養し、菌糸体酵素処理商品【ABPC】として商品差別化することに成功した。OEMで老舗のサンヘルスやカネボウ等に提供しているが、現在市場に出回っているアガリクス関連商品のはば3分の1を当社で製造しているという。タンク一式1億円。不況の最中にわずか3年で20億円(末端価格では160億円)の売上げを出す快進撃を見せた。「おかげさま

で供給が追いつかない状況なので、工場を新設するなどして増産を図っています」。営業計画も立てずに製造を進めるとは何とも行き当たりばったりに思えるが、その代わり研究・開発の段階で徹底的に情報収集し、非常に慎重な裏付けを行っているのだ。『私たちにはホントらしいウソではなく、ウソらしいホントが重要という環境で育ってきましたからね』と堀内社長。事象を正確に見極め、真理を追求するいかにも理系の人間らしい言葉が印象に残った。

尽きることのない  
微生物の活用可能性

株価の低迷、懸念されるデフレスバイタル、増加する一方の失業率…



## ●株式会社 応微研●

1990年5月設立。環境エンジニアリング、健康食品、微生物農薬を3本柱に掲げるバイオベンチャーでアガリクスの菌糸体大量培養により躍進有名に。売上高約20億円(2001年7月期)。社員数約100名。昨年には玉穂町の山梨ビジネスパークに「試験研究センター」を完成させた。

Tel: 046-0045 山梨県東八代郡石和町井戸242  
Fax: 056(262)9861  
URL: http://www.oubiken.co.jp



## 株式会社 応微研

代表取締役  
堀内 勲  
ほりうち いさお



日本は危機の時を迎えている。

「中小企業が疲弊してしまうような税制は考案もの。ベンチャーが育つような土壤をつくるなれば、この国の未来にたくましい国際競争力は望めませんよね。ですが悲観してばかりではないので、生き残れるよう明るく前向きに努力していこうと思っています。そのためにはトップ自らが動かなければ」と力説する。

「その点ウチは発展途上の段階です。こことところ、社内の再構築を行っているんですが、今まで結構だらしがなくなりの売上げを伸ばさせてこれまでましたので、少し引き締めればもういい結果が出せるんじゃないかと考えています。そんな社長の言葉には、どこかしら余裕も見受けられる。

微生物で出来ることは幅広い。最近は、悪臭や廃棄物をいっさい出さない養豚クローズドシステムや海水性のエビの養殖生産技術、またラン藻を使った空気清浄装置等を開発している。

環境の時代と呼ばれる21世紀、新たなビジネスチャンスに果敢にチャレンジする(株)応微研の今後の動きにまだ目が離せない。

**HAYANO**

**シアワセ創り**

これから始める新しい人生、  
バージンロードを進む二人に  
ウエディングベルが高らかに鳴り  
祝福の喝采が満ちてゆく…  
そんな大切なシーンを思い描きながら  
幸せのチャペル創り、完成しました。

古名屋ホテル（チャペル）  
施工／早野組

<http://www.hayano.co.jp>

ISO9001  
認証取得

株式会社 早野組

本社 ■ 〒400-0807 山梨県甲府市東光寺一丁目4-10  
TEL 055-235-1111(代) FAX 055-235-1109  
●リニューアル部 ----- TEL 055-232-0200  
東京支店 ■ 〒193-0835 東京都八王子市千人町2-5-24  
TEL 0426-67-8800 FAX 0426-67-9497

中都支店 ■ 長野県飯田市南中平2821-1 TEL(0265) 23-3969 FAX 52-2171  
静岡営業所 ■ 静岡県静岡市南町5-17 TEL(054) 284-3808 FAX 284-3919  
岐阜営業所 ■ 岐阜県土岐市東梅の木町1丁目3 TEL(0572) 55-2834 FAX 55-0817  
静岡営業所 ■ 長野県駒ヶ根市吉橋3469-1 TEL(0265) 83-0360 FAX 81-6468

**サークル訪問**汗で育つ 感性が光る  
街にめばえる文化探訪

楽しく有意義な自主学習グループ、ここにあり！

**手づくりのイベントを企画  
広がるふれあいの輪**

昭和町カルチャーデザイン倶楽部



熱く語ってくれた中野さん

さん。イベント終了後は打ち上げを兼ねた飲み会でまたいちだんと盛り上がるそうだ。

携帯やパソコンといったデジタルが幅を利かせ、人間関係も希薄になりつつある昨今、このようなふれあいを大切にする活動はとても貴重だ。“朱に交われば赤くなる”のことわざではないが、好奇心や向上心旺盛な彼らの熱意にふれれば、そのたぎるエネルギーを分けてもらえそうな気がした。

甲府市の隣町という地の利を活かし発展してきた昭和町。ここで最近、注目を浴びている地域づくりの自主学習グループをご紹介したい。

「この町には体育面の施設は整っているんですが、ホールや公民館といった文化施設は少ないんです。それで町民にも行政職員にもどこか文化不毛の地という思いがありましてね」と話してくださいましたのは、昭和町教育委員会の中野良男さん。「でも人間が住んでいる以上、必ず文化というものはあるはずですから」中野さんをはじめとする生涯学習ボランティアのメンバーによる呼びかけで有志が集まり、平成6年『昭和町カルチャーデザイン倶楽部』が発足した。

以来、中央公民館を拠点に様々な活動を行ってきた。まずは、飯田市で「風土舎」を主宰している玉井義男先生を招き、徹底的に町おこしや地域づくりについて学んだ。

**人から人へ  
熱い意気込みは伝わって**

それから7年。定例会で持ち寄った案を基にイベントを決め、企画・運営してきた。「ハーブづくり」や「児童絵画展」「パソコン講習会」「古代米づくり」や「国際交流会」「音楽会」や「演劇会」に「討論会」や「映画観賞会」等々、その内容はじつに多岐に渡っている。「年3~5回開催しているイベントも、手頃な値段が好評でいつも満員なんです。次回の問い合わせもよく聞かれます」と中野



イベントが成功した後の晴れやかな仲間たち



町内に住む外国の方を迎えて交流をはかる

## ◆昭和町カルチャーデザイン倶楽部◆

昭和町を拠点に地域での文化活動に自主的に取り組もうという主旨でできた（地域づくり自主学習グループ）。平成6年8月発足。メンバーは20代から70代までと幅広く、現在38名。規約や会費はいっさいなく、入退自由。月1回の例会をもとに文化的催しや学習会等、様々な活動を企画・運営している。

問い合わせ 昭和町教育委員会 中野良男  
連絡先 〒409-3880 中巨摩郡昭和町押越532 ☎055(275) 3737  
URL <http://isweb11.infoseek.co.jp/area/culture/>

今、私はテロリストによって大きな経済的・心理的にショックを受けたアメリカに来ている。ただ、今はロサンゼルスの郊外で日本の自動車会社をインタビュー調査しており、生活という意味では直接の影響は無い。ただ、本来ならば今頃はニューヨークにいる予定であったが、空港はすべて閉鎖されており足止めされている。ここで今回の事件について語ることは門外漢の私には不可能なので、これまでの経験を語りたいと思う。

私は、Irvineという、ロサンゼルス空港から50分ほど南に下った町に滞在している。もともとは砂漠であった土地を潰してできたゴルフ・コースのような町並みをみると、アメリカのフロンティア・スピリット(開拓者精神)を体感できる。彼らにとって、自然とは調和するものではなく、あくまでも征服する対象なのである。きれいな芝生をランニングしてみたが、実は水浸しでビショビショ。砂漠に無理やり生やしているので、朝、晩とスプリンクラーで水を撒き散らすのである。西海岸は水不足、そのための電力不足と聞いていたが、これだけ使いまくれば水も不足するだろう。

この街が面白いのは、道がわざとくねっているところだ。確かに、日本の場合、幕張の埋め立て地や筑波学園都市も新たな街は一直線で区画が造られている場合がほとんどである。しかし、もともと自然界に直線なるものはほぼ存在しないし、人間には生理的不安感を与えるようである。こうした街は大抵、非行が増えたり、自殺者が増えたりするものだ。建築や美術でも、20世紀初

## 『アメリカ雑感』

山梨学院大学 助教授

青木茂樹

頭、機能重視のモダニズムに対抗して、曲線美や植物をモチーフにしたアールヌーボーが出てきたことも同様の理由であろう。

さて、今回の渡航目的は、日本企業が外資と提携を深めるなかで、どのようにマネジメントが変化しているかということであるが、訪問企業に関わらず、販売・生産といった面において、正直言って米国企業は粗雑である。自動車の生産に関して、アメリカで作った自動車はブレーキとか床とかにガムなどが平氣でくつついでいるという。作業員のモラール教育(といつても彼らにとってガムを食べながらそこにはき捨てるのは普通のことなのだが)が結構大変のことであった。

また、アメリカのスーパーに行って感じることは、日本のHome Manage-

mentとは根本的に発想が異なることだ。皆、信じられない量を購入していく。もちろん生鮮三品といつても、魚介類はほとんどないし、冷食と乾物が基本である。とにかく、大量に購入して、大量にストックするのがこちらの文化である。さらに現地の方に伺えば、アメリカではゴミ問題も全く問題ないという。確かに、ゴミの分別などやっていない。広大な土地がいくらでもあるので、全部焼却せずに埋めたててしまう。

しかし、不思議なことはなぜ大雑把な国に日本のメーカーや小売業は負けるのかということだろう。訪問企業が購入しているソフトも、莫大な資金力と一部の天才によってシリコンバレーで開発されている。恐らくビジネス・デザインとかアーキテクチャーの構造力に優れているのである。とにかく広大な土地、莫大な資源を背景とした資金力の差が何よりも大きい。これが新たなビジネスに投資として資金が注ぎ込まれ、常に新たな差別化を求める気質の彼らの中の一部が成功を勝ち取っていく。これがさらに新たな投資を生むといった循環したシステムの中に、アメリカの製品、サービスは生まれてくる。製品やサービスを点で捉えていては彼らのすごさが見えてこない。

たとえば、フランチャイズのシステムも同様だ。しかも多民族の国家において、ビジネスをシステム化、ルール化することで、質の低い労働者でも均質なサービスが提供できる仕組みがある。一部の資本家が儲かる仕組み、まさに“Rich Dad, Poor Dad”(『金持ち父さん、貧乏父さん』)の世界がここにはあるのだ。

かつてオスマン・トルコの歴代スルタン(君主の称号)達の居城であったトプカプ宮殿は、今、博物館になって公開されている。イスタンブルにある。

ホテルを出る時から空模様は怪しくて、気になっていたのだが、案の定、宮殿に着くなり、小さい雨粒が落ちてきた。が、それも束の間、重厚に構えた中門をくぐり抜けた時には、もう風交じりの雨で、華奢な折り畳みの傘など役には立たなかった。

庭園の先に、長屋のように長く伸びた回廊が見えた。それとばかり、その下に駆け込む。そこには、すでに雨宿りの先客達がいた。

5、60人ほどの小学生。4年生ぐらいか。先生に引率され、見学に来ている様子である。高い声を天井に響かせ、くつきとした目をくるくる動かして、柔らかい彼らのからだは、いつまでもじっとしていなかった。どこの国の子どもも同じだなあと、わたしは思わず目を細めてしまう。その時、目の前の女の子が細い声で、「Hello!」と言ったのだ。わたしはうれしくて、「Hello!」、応じると、今度は他の子供たちが口々に、「How are you?」競って、黄色い声を投げてきた。

わたしは、還暦をとうに越したオバサンだというのに。いや、オバサンだからいいのか、気安くて。「Are you a Japanese?」「yes!」

谷底から急峻な山の頂に跳ね上がるような、精一杯の抑揚を付けて、わたしは応える。

子供たちの目がきらきら光っている。かれらの習いたての英語が、日本から来たオバサンに通じた喜びか。「What's your name?」「わたしを見上げて叫ぶように言った

かれは躊躇したデイジーを濡れながら摘んで、異国人の人、通り掛かりの人、わたしに贈るというのである。

わたしの孫のような子供たち。男の子の手の温かみがそのまま残る小さい花束を、わたしは頬に当てた。リボンと包み紙で飾った、手の混んだ花束は、恭しく頂いたことがある。が、ほんの一握りの、摘まれた、素手の中の花。なんとうれしい花束であろう。子供たちの甲高い声が沸き上がった。

女の子が、華奢なカメラをわたしに向かた。周りの子供たちは、一齊にわたしに貼り付いて、カメラの中に収まろうと押し合う。わたしは、両脇の子供の肩を抱き、引き寄せた。それから、思いきり目を輝かせ、精一杯の笑顔をつくった。シャッターの音がすると、ここでまた、黄色い声が沸き上がった。とび跳ねた。

雨が止んだ。子供たちはぞろぞろと、先生の後について、長い建物の角に消えていった。振り返っては、手を大きく振りながら。

静かになった。鼻の下にがっちりと、大きい握をたくわえた爺さんと、大判のくすんだ色のスカーフで、すっぽり頭を包んだ婆さんが、ゆっくりわたしの前を行くだけだ。

それにしても、不意にひとり、ひょいと飛び込んでいった顔つきの違うわたしに、どうして子供たちはあれほどに親愛の情を示してくれたのだろう。孤に摘まれた思いで、わたしはしばらく、そこに立っていた。

だが、こんなに楽しい、胸の高鳴るひとときを、こんなに小さい花束に詰め込んで日本に帰れるのは、うれしかった。はしゃぎ過ぎてしまつた、ばつの悪さはあったけれど。

## 『小さい花束』

三神ふさ子

作家 中村翠湖賞

のは、やや肥り気味の男の子だった。「My name is——」ここで大きく一呼吸入れてから、思い切り大きく口を開かしてわたしは言った。「Fu,Sa,Ko」なぜか子供達はどよめいて、互いに顔を見合わせる。今まで聞いたこともない、不思議な音が、わたしの口からこぼれたからか。

「Fu,Sa,Ko」

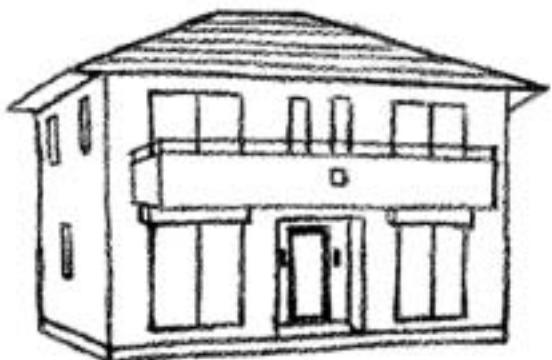
どよめきに混じって、不器用につぶやく少年の声がした。その声の方に向かって、「Good! My name is FuSaKo」そう言うわたしは、大分はしゃぎ気味。子供たちは今度はみんなで声を合わせ、「Fu,Sa,Ko」大きいコラスになった。

その時だった。やや小柄の男の子が、その素手にいっぱい、小粒の白いデイジーを握り、わたしの目の前にそっと突き出したのだ。雨に煙る庭園に広がる草原の中に、黙つて咲いている花だった。まるで日本の子供たちがレンゲを摘むように、

## INFORMATION

### トヨタホームが贈る “はじめて”の建てる家

住まいづくりは、夢づくり。ご家族の想いを込めたひとつ一つの夢に、「シンセ・SS」はしっかりとお応えします。エクステリアから、木造り、インテリア、照明・電気設備にいたるまで、豊富に取り揃えたアイテム＆バリエーションの中から、お好みのものをチョイス。外観のイメージづくりやバルコニーのカーテーリングはもちろん。そこに住まうご家族がいちばん快適に暮らせるために、オンラインの住まいづくりを応援します。



**SMART STAGE**  
“はじめて”が、はじまります。

### 「SQUARE」の考え方。



トヨタホーム山梨(株)  
本社：中巨摩郡昭和町河西1043 TEL 055-275-1234 FAX 055-275-7800

### 都民の健康と安全を確保する 環境に関する条例 (自動車部分のみ抜粋)

#### 1. 排出ガスに関する規制

- (1) 都独自のPM排出基準の設定によるディーゼル車の運行禁止
  - ① 都の排出基準…新車に対する国の最新の排出基準の「一段階前の排出基準」とする。
  - ② 対象車種…貨物車、バス、特種車(貨物車、バスをベースとしたものに限る)
  - ③ 規制開始時期…平成15年10月1日
  - ④ 猶予期間…初度登録から7年間は規制の適用を猶予する。
  - ⑤ 上記猶予期間経過後の措置…排出基準に適合しないディーゼル車は都内の運行を禁止する。ただし、知事が指定するPM減少装置を装着した場合には、基準に適合するとみなす。
  - ⑥ 荷主等の義務…荷主等から貨物・旅客の運送等の委託を受ける事業者が都のPM排出基準を遵守するよう、必要な措置をとることを荷主等に義務づける。
  - ※「荷主等」とは…反復継続して貨物・旅客の運送等を委託する者で、規制対象の自動車の運行に相当程度関与する者
- (2) 自動車環境管理計画書の届出の義務化
  - ① 対象事業者…都内の事業所で一定台数以上の自動車を事業に使用する事業者(30台以上を予定)
  - ② 義務づけ内容…自動車環境管理計画書及び実績報告書の提出を義務づける。

#### 2. 低公害車の普及拡大

- (1) 大規模事業者に対する低公害車導入の義務化
  - ① 対象事業者…都内の事業所で一定台数以上の自動車を事業に使用する大規模事業者(200台以上を予定)
  - ② 義務づけ内容…事業に使用する自動車の台数に対する低公害車(ULEV車及びそれに準ずる自動車を予定)の一定割合以上の導入を義務づける。
  - ※ 平成17年度までに5%以上とすることを予定
- (2) 自動車販売事業者に対する環境情報の説明の義務化
  - ① 対象事業者…新車を都内で販売する事業者
  - ② 義務づけ内容…新車の排ガス値、騒音値等の環境情報を購入者に説明することを義務づける

#### 3. アイドリング・ストップの義務化

- (1) アイドリング・ストップ遵守の義務化
  - 自動車等の運転手、自動車等を使用する事業者に対し、アイドリング・ストップの遵守を義務づける。
- (2) アイドリング・ストップ周知の義務化
  - 駐車場管理者等に対し、施設利用者へのアイドリング・ストップの周知を義務づける。

#### 4. 燃料対策

- (1) 重油混和燃料等の使用禁止…重油や重油混和燃料の自動車又は建設作業機械等への使用を禁止する。
- (2) 重油混和燃料等の販売禁止…建設作業機械等の燃料として、重油や重油混和燃料の販売を禁止する。

#### 5. 規制を担保する手段

- (1) 自動車公害監察員(自動車Gメン)の設置…事業所への立入検査や路上検査により、違反車両や重油混和燃料を取り締まる。
- (2) 討罰等…違反者に対して、氏名公表や罰金等を適用する。

甲府通運(株)  
本社：中巨摩郡昭和町河西1043 TEL 055-275-1234 FAX 055-275-7800



### 早野グループソフトボール大会 土木Cが優勝

9月15日に、早野グループソフトボール大会が、今年より(株)ロードも加わり、16チームの参加で行われました。決勝は土木Cと舗装Aの対戦で行われ、12対8で土木Cが優勝しました。

### 加熱透水豆砂利舗装のお知らせ

#### 概要

加熱透水豆砂利舗装は、天然の砂利と砂を主骨材に、透明な脱色アスファルトと加熱混合した混合物を使用します。天然砂利の自然な色合いが景観にマッチした風合いを醸し出します。

#### 特徴

- 自然の砂利道の景観を呈し、落ち着いた自然の雰囲気を醸し出します。
- 透水性舗装ですので足元がぬれません。
- 半年ぐらい経過すると表面のアスファルト被膜がとれ、天然骨材の表面が露出してより一層自然観を醸し出します。
- 製造は、通常のアスファルトプラントで行います。



加熱透水豆砂利舗装の表面

#### 用途

遊歩道、公園内舗装、歩道、建築外構、駐車場、広場等



施工例

※当社ホームページはyahooの検索に「早野組」と入力しますと一発で検索できます。  
(株)早野組 本社：甲府市東光寺1-4-10 TEL 055-235-1111  
<http://www.hayano.co.jp>

### Verossa誕生！ New series イプサム“240。”

躍動感あふれるフォルムと  
エモーショナルな走りがもたらす  
新たな快感、ヴェロッサ新登場

大人の美意識を魅了するエキゾティックな存在感。



Verossa V25

美しいデザイン、気持ちのいい走り、  
そして優れた居住性。  
すべてが進化した、新しいイプサム。

ミニバン選びの新しい基準はイプサムから。



240u "G Selection"

ぜひお近くのピスタ店にお越しください。

トヨタビスタ山梨(株)  
本社：甲府市御氣3丁目10-21 TEL 055-232-5511

歴史上歌舞伎の名優と謳われた人は  
厳選するとやはり数少ない

甲府の亀屋座の舞台で絶賛された人

## 七代目市川団十郎

(いちかわ だんじゅうろう)

上野 晴朗

うえの はるお  
1923年山梨市生まれ、歴史家・作家。国立図書館郷土資料室  
を経て67年から文筆活動に入る。著書に「甲斐武田氏」等多数



三代豊国撰  
市川団十郎(七代目)一門  
七代目はこれを松亭に譲った



市川団十郎の子  
八代目のおもかげ(豊國画)

江戸時代の後期、不世出の名優と謳われた七代目市川団十郎が、甲府亀屋座の初顔見世に大評判をとったのは、文政5年(1822)6月の夏芝居であった。甲府若松町にあった亀屋座は関東八座の一つに数えられるほど有名で、このときの演目は「御摂蘇我源」と「壇浦兜軍記」などであった。

このとき七代目の友人で江戸の狂歌師として名を成していた宿屋の飯盛(六樹園)は、甲府の晶夙筋へ次のような手紙を出した。

猛暑のおり、お捕いお多福の由賀し奉り候、然ればこの度団十郎こと御地へまかり出で戯物興行のところ、諸君あつくごひいき成し下され候由、あらあら承り、手舞い足踊り悦入り存じ奉り候、かの家は三代の想意にてことさら今の三升篤実の上、芸も上達、市川の家に稀なる男に



七代目の景清と八代目重忠の演する「壇浦兜軍記」  
豊國画 升太に贈られた

て候、このあと合せ、厚くお取立て下され候様、希上げ奉り候、いらざる老人のさしで仕候こと、代々の馴染にて置がたく一寸一筆申上げ候

六月二十九日 六樹園  
甲府御連中様

岐中戯場記録によると、初日は同年の6月24日、29日には早くも江戸の飯盛からお礼の手紙が来ているから、七代目は甲府初舞台の人気の模様を、よほど早く飛脚便に託して飯盛に書き送ったのである。またこの手紙の文意から、飯盛が七代目を甲府へ紹介し、且つ甲府には飯盛の狂歌の弟子が多数いたことが窺える。

では飯盛ほどの江戸の粹人と付き合った、甲府御連中とは一体誰々であろう。まず手紙の出所の甲府八日町の牡丹亭升太の九代目太郎右衛門、魚町の割烹松亭の六代目源右衛門、同じ町の書店村田屋孝太郎ら

であって、これらの人々は飯盛の狂歌の弟子として、甲府の当時の文化人、粹人だったのである。

さてそれでは甲府亀屋座の舞台で一躍名を上げた七代目団十郎とはそもそもどういう人物だったのか。伝承では市川家は初代団十郎が甲斐武田家の臣下だったといわれ、代々名優ぞろいの中でも七代目は特別に傑出していた。寛政3年(1791)に生まれ、一生を通じてまことに多彩な生活を送り、安政6年(1859)に69歳で没している。

身体はあまり大きい方ではなかったようであるが、眼は大きく音声は豊かで、且つ名調子であり、舞台は実に立派だったという。その芸風は市川家独特の荒事は勿論のこと、和事においてもすばらしく、また時代物、世話物を問わずなんでもこなしていたという。さらに立役ばかりでなく、女形から舞踊にいたるまで魅力にあふれていたから、絶賛を受けたのである。

その実生活もまた人気役者だったので、派手で豪勢そのもので、そのため天保13年(1842)、あの有名な天保改革の奢侈禁止令にふれて、江戸十里四方お構いという、手厳しい刑を受けてしまった。そこで致し方なく江戸追放から大阪(大阪)に出て、しばらく暮らしていたが、そのとき上方の芝居の芸風をも取り入れて身につけるというふうに精進も続けていた。今日歌舞伎界で十八番の随一のようにいわれる「勘定帳」などは、七代目が能の安宅を取り入れて、どのように豪壯なものを大成させたのである。

そもそも七代目は文政5年6月の

夏興行で甲府入りしたのを皮切りに、嘉永4年(1851)までに四度甲府に公演に入っている。そのほか身延諱りや富士登拝にも出かけていて、その都度甲府の晶夙連と交流を深めているが、中でも八日町の升太(升太)太郎右衛門とは親戚以上の深い交際を交わすようになった。甲府の升太武藤新蔵家には、その交流を示す数々の手紙類や、版画、肉筆などの資料が多数保存されていて、私はたまたまそれを具に精査する機会に恵まれた。

七代目の書体は実に達筆、かつ自由奔放であり、その上内容全体に軽妙洒脱な雰囲気が漂っていて、圧倒



牡丹亭升太でつくられた親玉おこしの宣伝ちらし  
七代目の頭を国芳が描く

されるものがあった。升太と親戚以上の付き合いをしているせいか、家庭内の秘事や身辺の雑事まで細かく綴られていて魅力にあふれていた。七代目は7男5女の子福者でもあったので、その子供の縁談の頼み事まで綴られていて興味深い。

升太は菓子屋であったので、当時珍しいカステラを注文で造らせているかと思うと、新製親玉おこしの宣伝チラシに、七代目の当たり芸の「暫」を国芳に描かせて入れてやるなど、まことに心にいくサービスまで

見られる。甲州名産の月の半なども、どうやらその工夫には七代目もからんでいるよう、「類もなき月の半や有一物 その甲斐ありて京家別伝寿海老人 白猿」という狂歌の短冊も残されている。

狂歌や俳句が好きで、俳名は三升、または白猿と書き、狂名の方は寿海老人と著しているが、年代により海老蔵、または夜雨庵、二九亭、子福長者などとも書いている。七代目はこのように生活は自由奔放、芝居の世界の道楽をも、そのまま家庭の中にまで持ち込んでしまったようで、一生の間に三妻、三妾があったといわれる。升太と関係深い八代目は二度目の正妻の子供で、妻はすみという名前だった。八代目は芸もうまく容姿にすぐれ、父親同様升太と想いでその借金申込書も残されている。

この市川家七代、八代の共演の姿を示す大幅が「壇浦兜軍記」であって、七代目はこれを一陽斎(歌川)豊国に描かせ、升太と松亭の両家へ寄贈している。

ところで私がここでとくに強調しておきたいことは、七代目、八代目をここまで晶夙にした、升太や松亭、村田屋幸太郎らの、芸一筋に一生を貫いて生きた役者に寄せる心意氣である。いや役者ばかりではない。狂歌師の宿屋の飯盛に対してもそうであったし、浮世絵界の広重・北斎・国芳・豊国ら一門を援助し、すんで道祖神幕など描かせて晶夙にし「甲府は浮世絵界のメカ」と後世云わしめたほど、文化の雰囲気を町々につくり上げていた、その水準の高さを改めて評価しておきたいと思う。

## 光琳と抱一

尾形光琳(1658-1716)と酒井抱一(1761-1828)。

この二人、日本の絵画史に残る絵師である。

もっともこの二人の間には半世紀の歳月が横たわっている。つまり、この二人は生きて会いまみえることはなかったのだが、奇妙な因縁から現代に至るまで、実に親しい間柄でありつづけている。

そうなのだ、尾形光琳が十八世紀、江戸時代に描いた「風神雷神図屏風」二曲一双。この屏風の「裏」に、ほぼ百年後、光琳を崇拜した抱一が「夏秋草図屏風」を描いた。

つまり、両者は背中合わせに平成の現在、東京国立博物館の所蔵庫内で、静かに時を育んでいるのである。

## 宗達・光琳・抱一のリンク

尾形光琳は、自分より一世紀前に活躍した絵師、俵屋宗達の影響を受けながら、デザイン感覚の優れた実際に現代的な絵を描いていた。金地に燕子花を描いて見せた根津美術館所蔵の「燕子花図屏風」は有名である。

光琳は、宗達が描いた「風神雷神図」を越えようとチャレンジして、自身も「風神雷神図」を描いたのだけれど、その図を見た抱一も「風神雷神図」を描いている。

この辺りのライバル意識にはほほ笑ましいものがあるのだが、抱一はこれだけでは飽き足らず、さらに、光琳が描いた「風神雷神図屏風」の裏に、風神雷神を描かないでこの絵を越えようという勝負に出たのだ。

屏風の表と裏に、  
百年の歳月を挟んで描かれた一枚の絵

## ボクの美術品観察日記

山本 育夫

18

ミニシアム・マガジン・チーム(DOME)編集長/アートマガジン  
エル・アーツ(EL ART)編集長/まち見物「おなしデブー」編集長  
中央公論、美術手帖、週刊朝日などに執筆、大学や美術館などで  
講演多数。美術品鑑定学のメーリングリスト主宰。参加者  
はyamamotoyukio@nifty.comへ、参加費無料。

## 夏秋草を描く

抱一の構想はこうだ。

まず、光琳の金地に対抗して銀地を用い、雷神の裏に「夏艸雨」を、風神の裏に「秋艸風」を描いた。つまり、雷神には雨で対応し、風神には風で対応して見せたのだ。

そうわかってみると、この何のこともない夏秋草図も、にわかに活気をおびて見えてくる。

画面右側の夏草は、雨に打たれて頭を垂れている。

画面左側の秋草は、風に吹き上げられて葉を空に飛ばしている。

画面右側には雨が降り、左側には風が吹いているのだ。

私たちの視線が向かうほぼ中央部には何も描かれていない。真ん丸くぽかんとあいた空間になっている。そしてその空間に、雨が降り、風が吹いている。

そうわかってみると、この一見寂しげな、主人公がない感じがする絵も、眼には定かに見えない主人公たちが、ちゃんと描かれていて、活躍していることがわかる。

## むかしの人はすごいなあ

こうした「戦い方」は気持ちがいい。戦う姿勢が、実に悠々として見える。現代ではなかなか見られない戦いぶり、誰かが挑んでくれないものか。

こうしてみると最近のアーティストたちは、なんとも心の了見が狭く、描くモチーフが低調だなあと感じてしまう。なんとかならないものか。

閉じられた共同体の中にいると、本人も知らないうちに姑息になる。健康に良くない。

後に琳派と称されたむかしの絵師たちの、世紀を越えた対決の様子を見ながら、ぶらりと秋の野に出でてみてはいかがだろうか。

野はいたるところにある。そう思いさえすれば、野はまず心の中にいるのだ。

## 四季花鳥の図の美しさ

抱一、五十代の作品。見事な筆さばき、シンプルなかたち。何も足さない、何も引かないという心境だろう。どうしてここまで無駄を省けるのだろうか。

この絵、正式には「四季花鳥図卷」といい、春夏と秋冬の二巻からなっている。絹地に極彩色で満開の四季の草花が描かれているのだが、朝顔のブルー、単純化された円形の潔さはどうだろう。

片足あげた雀、今まさに羽をこすりあわせて鳴いている鈴虫。

巨大な銀色の月。

世がどのように乱れていようと、四季花鳥たちは、ただあるがままに自らの生命を全うしている。

こんなふうに生きてみたいものだ。



尾形光琳  
「風神雷神図屏風」



眼は雷神を見ているぞ



眼は風神を見ているぞ



酒井抱一  
「夏秋草図屏風」



風に舞う紅葉



風に舞う秋草



雨に打たれている夏草



酒井抱一「四季花鳥図」



シンプルな朝顔の美しさ 鈴虫さん





# 滝と見る ハイキング

vol.14 德和川・荒神の滝（三富村） 写真と文 上野 嶽



渓谷周辺の山々は紅葉が真っ盛り

梵神の邊の上にあら雲宮國跡而號跡

元について見上げる梵神の姿は、盛り上がりあのように流れて見える



参考タイム

徳和	
夢窓の湯	徒歩40分
荒神の湯	徒歩25分
折り返し点	徒歩20分
林道	徒歩15分
徳和	徒歩45分

徳和川は笛吹川の一支流で、ハイカーメーカーの「乾徳山」の南面を流れる川である。同じ支流でも奥の西沢や東沢よりスケールは小さいが、滝の数は負けないくらいある。そして小渓谷の良さは、いずれの滝も手に触れるくらい身近で眺められる」とだ。

雁坂みち（国道一四〇号）を北上し、三富郵便局の先で左折、徳和川に沿って登る。集落入口に駐車場があるので、車は置いていった方がいい。林道は荒れている。

乾徳山登山口を通過し、見事なスギ林を抜けて第一遊歩道入口を見送る。少し先の「徳和渓谷入口」の指導標にしたがつて林道から下りる。五分ほどで夢窓の滝（別名、二手之川の滝）に着く。奥まついて見にくいか、小渓

谷の滝とは思えない豪快な滝である。

新通運前史を訪ねる(18)

**前** 号に引き続き、甲府小運送株式会社から甲府通運株式会社へ発展移行の経過について早野欽介の記述を紹介する。

通志事案卷之三十一

(イ) 通運事業の免許権制に付いて  
通運事業法の施行にあたり甲府駅が複数制実施の指定駅となりましたので、現在日本通運株式会社甲府支店の取扱い貨物の大部分の集配を下請けしている甲府小運送株式会社を母体会社として甲府通運株式会社を設立致し通運事業の免許を申請し同社が有せし現在迄の長年月にわたる経験とその実績を活用し通運事業法の目的たる一般荷主と大衆へのサービスおよび鉄道輸送力の向上に協力致さんと念願するものであります。

# 会社甲府通運の営業免許 界は従業員とその家族のためと 野鉄介の熱意

太陽一郎

し よういちろう  
県教育委員会・県中福島文化振興会

下請業務は危機となり会社は倒壊のほかありません。この事は日本通運甲府支店の配数量の約六十パーセントを下請けいたしております現状からして新たに他の通運事業者が出現した場合は日本通運の取扱い量は減ずる事が予想され、同時に当社の下請業務は不可能となることが予想されるからであります。また現在、地場扱いも相当でありますがこれは大部分が下請け集配の延長として生まれるものでありますので下請集配が不可能の場合には地場輸送にも重大な影響があるのであります。ひる

きる

新会社を設立して免許を得るということは、従業員とその家族にとつての死活問題であるとの早野の決心を読みとることがで  
きる。

送自動車株式会社の現在の施設はそのまま直ちに有効に活用されると共に全従業員ならびにその家族二百余名は路頭に迷うことなく新会社の業務に邁進することが出来るのであります。換言すれば、通運事業の免許の可否は全従業員六十四名並びにその家族二百余名の死活問題であります。

**安心と満足をお届けするプロの運転  
老舗ならではのサービス精神**



甲府市の北バイパスに富士見通り(アルプス通り)が突き当たるところに位置する合同タクシー。大きく掲げられた看板が目を引くこの会社は、大正14年に創立した県内きっての業界の老舗だ。

「ビスタさんとは先代の社長からおつきあいがありまして」と話してくれたのは、小澤照人常務取締役。ここで「最近は一人暮らしやご夫婦だけといふお年寄りが多いんですが、出かけたくても共稼ぎの子供たちにはなかなかいます」小型のファンカーゴは、甲府市街の狭い路地も難なく通れ、小回りが利いて便利。合同タクシーでは介護サービスの「やさしい手甲府」と

提携し、要介護高齢者の搬送サービスをこのファンカーゴで行っている。車イスを備え、ドライバーもホームヘルパー2級の資格取得者。しかも乗り降りの楽なスロープ型の特別仕様車だ。「国土交通省や陸運支局の方が協力してトヨタさんとコンタクトをとってくれましてね。このスロープ型の車両は、業界でも全国第1号車なんですよ」雨や雪の日でも玄関まで送迎でき、濡れずにすむことから、お客様に

**【DATA】**  
甲府市大和町1-48  
配車センター・年中無休・24時間予約受付  
※身障者の方は全国的に一律1割引で利用可  
■055-255-5151  
フリーダイヤル ■0120-51-5116  
URL <http://www.godotaxi.co.jp>

**月の肥えたご主人がじっくり考え  
選び抜いて決めた家**



たくさんの車が行き交う柳形町の小笠原商店街。それにぎやかな通りと説明していくと、役場前の道に入ったところに今から二間続き回の訪問先はあった。7月末に完成したばかりの柴田敏之さん(34歳)宅。出し窓をつけ美しいグレーの外壁に勾配のある切妻屋根はどことなく垢抜けた感じ。が、ちょっと他の家とは違う。

【シンセ・レゾン】。トヨタホームの工場で働くご主人が、じっくり選び抜いた家だ。「仕事柄、相当量のプランを見てきましてね」と話す柴田さん。「県内の現場はもちろん、他県の展示場

へも足を運んで、いいなと思う点を盛り込んだ」そうだ。笠原小学校も、歩いて5分とすぐ近くだ。営業を白須さんにお願いしたのは、「先に建てた会社の先輩から紹介していた

細いスリットガラス入りの玄関。奥へ入れば和室に続きLDKが配されている。「大ご主人の愛情が詰まったこんな家概は廊下をつけ、個室にすなら、家族みんなが幸せいっぱいになるんですが、和室を活用し過ごしていくことだろう。



日本人の北朝鮮への観光旅行が行われている。立ち入れない地域も多くあるが、かなりのところまで認められているようだ。戦前自分の家があった町に入り「ここで止めてくれ」と運転手に頼んでも認められない。とはいって裏道がないわけでもないらしい。

私は自分の生まれた町へ行くことは現在出来ない。

私が生まれたのは旧満州、ソ連との国境に近い明川郡といふところである。父親は警察官をしていた。生まれてから終戦の秋までの短い間朝鮮にいたがその記憶はあまりない。しかし混乱のなかを集團で日本に引き揚げる途中での光景はいくつか覚えている。

家族は両親と三歳の私、産まれたばかりの弟それに南鮮出身のお手伝いさんの五人である。お手伝いさんはソ連軍の攻撃がある度に私を腹の下に入れてかばってくれたという。北の果てからの脱出は不可能と言わせていて、さらに母親は妊娠していた。

川辺で木切れを集め焚火をしながら野宿した時、飢えた家族のために父親がネズミを捕らえ、目の前でびくびく生きているままの皮を剥いだ。ご馳走は私の口にも入ったはず

である。私は今でもこの小動物が苦手だ。日本人の男達が保安隊に捕られ父兄も連れ去られてから母兄や子供達の逃避行となつた。

会いたい人から 会いたい人へ  
知りたいことから 知りたいことへ  
リレーでつなぐエッセイ

## 黄土色の町

水木 亮

みずき りょう

作家 織田作之助賞受賞

黄土色の土の町にたどり着くと、日本人は黄色い砂埃が舞いあがる広場に集められた。数人の男達が私たちを威嚇しながら次々に持ち物を調べる。三〇代くらいの日焼けした顔の男が母親の前に立ち早口でなくか言う。モンペのポケットや靴のなかを調べられめぼしい物を掠奪された。何を獲られたのかわからないが、なされるにまかせるしかなかった母親の哀しい顔。

母は力つきても最後の金で牛車

を雇つた。牛車はうつろな目をした母と私達を乗せてのろのろと川沿いの土手道を進んで行った。私は生のモロコシをかじり、弟はその汁を母の口から飲んだ。

忌まわしいその町の外れまでくると、なにかのはずみで牛車が土手に転げ落ち私たちは放り出された。母は足を投げ出したまま何も言わない。恐る恐るその足を覗き込むと、向こう脛に三角の傷ができる桃色の肉が見えた。その痛みは歳月を経たまでも私の心に蘇る。弟は引き揚げ船興安丸で亡くなり母もまた日本の土を踏んで間もなく弟のところへ行った。

いちばん古い私にとっての朝鮮の風景。なぜそれを覚えているのかわからない。もしかして後から夢に見たものを記憶しているのではないかとも思う。

それは広い庭、おそらく私たちが住んでいた官舎の庭だろう。そこには台風の後らしい清らかな水溜まりがある。幼い私は思い切り足を開いてその上にまたがり、体をかがめると頭が水で濡れる。私は股の間からどきどきしながら官舎をながめる。嬉しくて仕方がないその目にいつも青い青い空が広がっている。

### 信頼されることが一番先

「こんにちは。川口と申します。よろしくお願い致します」姿を現わすなり、身体をかがめて丁寧にお辞儀したその人は、トヨタホームの営業部に籍を置く川口達さん(33歳)。

入社して10年目、住宅の売上げ累積棟数で最多を誇るトップセールスマンだ。近ごろは若い世代に転職を繰り返す人も多いが、川口さんは違う。「これが私の生きる道」と腰を据え、着々と実績を築いてきた。

「どんな営業も同じかもしれませんのが、お客様に信頼されることが一番先」と話す。そのため、マメに足を運んで、少しでも自分を理解してもらうようにしているそうだ。「お会いしてから5、6年目で建てていたら場合もあるんです」。

トヨタは車のイメージの方が強いということもあり、他のメーカーへ先に行ってしまう方もいるという。

「やはりよそを見てからでなく、最初にウチへ来ていただきたいですね。そういうふうに設定するのが私たちの仕事だと思っています」。その点、鉄骨を得意とするトヨタは頑固さが売り。耐震性や耐久性も高く、構造的にも安心できる。「工場で85%まで造ってきますから、手抜きはまずいっさいありません。今建てられるなら『シンセ・SS』などがおすすめですよ」とさりげなく自社商品をアピールする。

### これからも営業人生を

苦手なお客様などは?と聞くと「入社して間もない頃はありましたけど、今は極力なくすように努力しています。お客様の求めているものに焦点を合わせることが第一ですかね。そうしないとこれからの時代、勝ち抜いていけないですしね」と答えてくれた。初めにお会いした時に、

このお客様はどんなものを求めているのか。値段なのか、内容なのかを自分なりに把握するようにしているという。相手の顔をよく見つめ、うなずきながらじっくり耳を傾け、低く穏やかな口調で話す。その姿勢にお客様も誠実さや好感を抱き、信頼して任せられるのだろう。

奥さんと子供の四人暮らしの川口さん。「これといって趣味はないんですが、子供の寝顔を見るのが楽しみ」と笑う。

生まれ変わっても同じ仕事をしたいですか?と質問すると「ええ、そう思いますね。私は営業がしたくてこの会社に入りましたしね。これからもずっと営業をやっていきたいと思っています」と力強く頬らしい返事が戻ってきた。

名は体を現すの言葉通り、その姿勢や意気込みは、まさにベテランの域に達しているようだ。どうか健康で、ますますご活躍くださいますよう。

### つねに新たな目標を達成する心意気

トヨタホーム山梨株式会社 営業部 本社展示場 店長

さとる  
川口 達さん(鎌沢町)



まごころ込めた介護のお手伝い、ケアプランの作成から介護サービスまで一括しておまかせいただけます。  
どうぞ、お気軽にご相談ください。

HAND TO HEART

やさしい手  
在宅介護のピューマンケアサービス

甲府

## 介護サービスのご案内

やさしい手は、全国ネットでFC事業を展開している介護サービス事業者です。中でも「やさしい手甲府」は山梨県内に9つの事業所を持ち、地域に密着した介護サービス事業者として、皆様からの介護に関する様々なご相談にお応えしています。介護の手続きから、ご利用者一人ひとりにあったケアプランの作成はもちろん、介護サービスの提供までを幅広くお手伝いしています。

### 「やさしい手甲府」の主な介護サービス

- 訪問介護：自立した生活のお手伝いをします
- 訪問看護：看護婦(士)がお宅まで伺います
- 訪問入浴：入浴者が伺い、自宅で入浴できます
- 通所介護：デイサービス施設で一日すごせます
- レンタル：必要な福祉用具が借りられます
- 住宅改修：手すり、段差解消の工事ができます

\*「やさしい手甲府」のスタッフは2級ヘルパー、介護福祉士、看護婦(士)など介護のスペシャリストですので、安心してお任せください。

\*人材育成のため2級ヘルパー養成講座を開催中、就業まで約束する奨学金制度もあります。

### ○訪問介護サービスでお手伝いできること

**身体介護**…食事、排泄、入浴、更衣、清拭、体位変換、外出、通院等の介護  
**家事援助**…買い物、調理、掃除、洗濯、衣類整理、相談、その他必要な家事援助  
**複合型介護**…身体介護と家事援助が同程度のもの

\*介護保険では、ケアプランにもとづき、上記の3つを組み合わせてご利用になります。

### ○ご利用料金（訪問介護職員1人当たり）

サービス内容	利用者ご負担金額（1割）
身体介護	30分以上～1時間未満 402円
家事援助	30分以上～1時間未満 153円
複合型	30分以上～1時間未満 278円
ケアプランの作成	無料
要介護認定・申請代行	無料

\*時間外加算：夜間（18～22時）25%増し、深夜（22～6時）50%増し  
早朝（6～8時）25%増し

\*訪問介護は土日、祝日、夜間も実施しております。

\*介護保険が適用されると自己負担1割でサービスの提供が受けられます。

0120-063-226 <http://www.yasashiiite-kofu.co.jp>

甲府本社：〒400-0025 甲府市朝日5丁目4-16 TEL055-255-6334/甲府北事業所 0120-063-226/甲府南事業所 0120-063-026/昭和事業所 0120-063-180/越崎事業所 0120-063-226/勝沼事業所 0120-063-230/一宮事業所 0120-933-230/忍野事業所 TEL0555-20-5187/富士吉田事業所 0120-063-226/駿河事業所 0120-933-226

おしゃれな雰囲気と  
南仏料理が味わえる店

フレンチテーブル・  
シャンモリ



日川の川沿いに建つこのレストランからもわかるように同じ敷地内に本舗のシャンモリワイナリーを併設している。赤屋根にレンガ積みの壁、店内に入れば解放感のある高い天井、自然光が差し込

むステンドグラスなど、ゆったりと落ち着いた雰囲気だ。さりげなくキャンドルとお花がしつらわれたテーブルも、心地い。ここで味わえるのは素材の味をたいせつにした南仏（ブルヴァンス）料理。

インスタント（冷凍物）はいつい不使用、地元産の新鮮な野菜や和牛を使用し、パスタやオリーブオ

イルから徹底してこだわっているのが特徴だ。ランチメニューはグラスワインにパスタ、サラダ、デザート、コーヒー or 紅茶が付いて2000円より。テーブル席とオープンデッキ

7卓で合わせて152名を収容できる（団体の場合は要予約）。駐車スペ

ースも80台と広い。レストラン

ランウェディングやケータリングサービスも行

ているので、気軽に活用してみてはいかが。

営業時間 11:00～21:00  
(ラストオーダー)

7～10月は11:00～23:00

定休日 7～10月は無休、

その他の毎週火曜

所在地 長野県伊那市下岩崎1453

TEL 0553-44-5556

FAX 0553-44-5558



ハケ岳リゾート  
アウトレット

魅力の自然調和型  
ショッピングリゾート

この夏オープンして以来、連日大勢の買い物客でにぎわっている話題のスポット。各モールはあれども、ハケ岳南麓の豊かな環境もいっしょに満喫できる点がここの大魅力だ。開発の際に以前からある植生を極力活かしたため、白樺林や座禅草の群生地、湧き水や小川がそのまま残されている。総面積



ここでの魅力を語ってくれた琴坂支配人と広報担当の鈴木英子さん

馬グッズの「FUNNY」、犬グッズを扱う「DOG DEPT」が大人

気という。そういえば愛犬とともに

にオープンテラスやベンチでくつろぐ人々の姿もよく見かけ、それ

がとても絵になっている。周囲には、南アルプスや鳳凰三山などが眺望できるマウンテンビュー

テラスをはじめ、「B

EAMS」などの有名

ブランド店が約30件

軒。中でもブロック玩

具の「LEGO」や乗

車。第二期オープン

には、来年7月

から楽し

たっぷり味わえる

スキー場などが集まっている

がとても絵になつていている。周囲には、ホテルや別荘群、温泉やブール、

スキー場などが集まっているの

で、買い物がてらリゾート気分も

がとても絵になつていている。周囲には、ホ

テルや別荘群、温泉やブ

ール、スキー場などが集まっているの

で、買い物がてらリゾート気分も

がとても絵になつていている。周囲には、ホ



某月某日

×月×日

## 不況の本当の原因とは？ 情報のコスト

「日本の不景気をどうするか」ということ 能とした。例えは、企業経営の効率を高めが国民の関心事となってから、もはや10 るためには、社長を含む企業のメンバー全 年になろうとしている。この10年で経済学 員がその企業に関するすべての情報を共 有することが有効であり、ネットワーク技術者は、「役立たず」と呼ばれるようになってしまった(政治家や官僚も同じように非難 の進歩とともにそれが可能となりつつある。の対象にあげられているが……)。

学生さんに対しては、例えは「金融拡大 まですべてが携帯電話を使うようになり、して、一定のインフレ率を必要悪としてみ 必要があればどこからでも連絡を取ることとめ…」とか「どうして公共投資型の財政 が可能となったり、ちょっとパソコンを知っ政策が無効になってきたか…」とかを話す ていればインターネットを使ってまさに莫大のだが、ここでは、もっと感覚的に「困った な量の情報にアクセスできるようになった。なー…」と思っていることを書いてみたい。

それは、簡単に言うなら「世の中の変化 コストが低くなってくると、変化は加速さの速度が速くなりすぎている」ということであ れる。先に「困った」と書いたのは、どうる。こう書くと「そんな陳腐なことを」と笑わ も現在の「日本」もしくは「日本人」がこのれるかもしれないが、これには理由がある。 ような急激な変化に対応して変わってゆ

過去10年間の情報技術の進歩は、すべ くのが苦手なのではないかと思われるかての者にはほぼ同様な知識を持つことを可 らである。

## 小泉首相はクリントンになれるか？ 大衆の直感

×月×日

この文章が印刷される頃はどうなってい 本の大衆というのを挙げたい。簡単に言 るのか分からないが、小泉首相の人気は うならば、「世の中が凄い勢いで変わる、依然として高い。彼が挙げている唯一のス それについて行くので精一杯だし、つい ローガンは「改革」であるが、実はこのスロ て行かなくては淘汰される。偉い人が改 一ガンは、クリントン大統領の1期目の選挙 革と言っているようだから、何かを改革す スローガン“Change”と似ている。あの時ア ればもうちょっと楽になるのではないメリカ国民は、長引く不況と湾岸戦争の後 か？」ということかもしれない。

遺症によって変化を求めていた。クリントン ここで言う「何かを」とは、行政などのい のことを「アメリカ史上もっとも幸運な大統 わゆるシステムを示すことになるのだろう領」(何もしなかったのに景気も上向き、ア が、その改革には大きな痛みを伴う。大概メリカの威信も回復した)と呼ぶ人がいる の日本の的なシステムは、安定で効率が良いが、彼の任期中にアメリカという国は良くも が一方柔軟性に欠ける。システムを変える悪くも自信を取り戻したことは事実である。 ことに対する不安、その効果がなかなか

私は、小泉首相の人気がかくも高いこ 現れない事に対する焦燥をかかえて今かとの理由の一つに、前述の「変化の速度 らの数年間を過ごす事になるのだろう。

…』という問題を直感的に理解している日

[文：杉村聰]